

【報告タイトル】

『日本の M&A における株価反応の研究』

浅田 克己

関西学院大学大学院商学研究科

【報告要旨】

M&A（企業の合併買収）発表時の株価反応を調査し、M&A の付加価値の源泉を探索することを研究目的としています。M&A 実施の発表が、発表日前後の当事者企業の株式収益率に反映することを前提として、株価に関するイベント・スタディを用いて株価効果の計測を行っております。

このような計測方法による買収企業と被買収企業と両者の合算した取引全体の株価反応の結果を見ますと、株主価値が増大する M&A と株主価値を毀損する可能性をもった M&A が存在することが明らかとなります。先行研究の成果を参考にして、日本の上場企業間の 2008 年から 2016 年のデータをもとに、M&A の取引形態（現金対価買収と株式対価買収）、取引目的（救済型 M&A、経営改善効果、事業関連性、親子間取引）、取引条件（買収プレミアム）に焦点を当て計測した株価効果から問題点を実証的に分析し、その中から明らかになった点を報告させていただきます。